



※ は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



クリスマスローズ苗を寄贈

3月7日、かのやばら園で「クリスマスローズ寄贈式」が行われました。これは、同園で実施するガーデニング講座の受講生有志19人が、同園のガーデニングに役立ててもらいたいと、クリスマスローズ476株を寄贈したものです。

クリスマスローズは、2月から3月にかけて開花する宿根草で、今後3年間かけて合計1,000株の寄贈が予定されています。



上小原小学校へグランドピアノを寄贈

3月3日、ピアニストの野崎稔子さん（鹿児島国際大学教授）が、上小原小学校へ長年愛用されたグランドピアノを寄贈されました。これは同校とのゆかりにより実現したもので、贈呈式では野崎稔子さんの美しい演奏、全校児童による合唱などが行われ、6年生の南愛理さんが「いつまでも美しい音が体育館に響くよう大切に使います」とお礼を述べました。



石牟礼神社で棒踊りを奉納

3月2日、輝北町平房の石牟礼神社で春の例祭が開催され、棒踊りが奉納されました。

この棒踊りは鹿屋市の無形民俗文化財に指定されているもので、当日は、上平房・中平房・下平房の各自治会保存会による手踊りや鎌を使った踊りなどそれぞれ特徴の異なる棒踊りを奉納。最後は3地区一緒に打ち込みを行い、五穀豊穡を祈りました。



鹿屋女子高校 優秀な成績を収める

文武両道を目指して日々努力している鹿屋女子高校では、平成25年度も3学科ともに素晴らしい成果を収めました。

まず、全商検定全9種目1級に情報処理科の生徒6人（3年生5人、2年生1人）が合格。全商検定とは全国商業高校協会が行なう、ワープロや簿記、英語などの検定のことです。全9種目が行なわれており、6人の「完全制覇」は全国最多。2年連続日本一の快挙を成し遂げました。

また、生活科学科においても、全国家庭科技術検定の被服分野の和服1級・洋服1級と食物分野1級のすべてに15人が合格。「3冠王」の称号を手にした生徒の輩出数は、19年連続で県内1位となっています。

この他、普通科でも、卒業生から学ぶ「進路体験座談会」が2年生を対象に開催。進路実現に向けて新たなスタートを切りました。



幸せの国ブータンを学ぶ

3月9日、カピックセンターで「幸せの国 ブータンを知ろう！」が開催されました。

当日は、同センターに滞在しているブータン国からの農業研修員3人が講師になってブータン国の言葉や観光などを紹介。

参加者は、研修員手作りのブータンのお菓子やお茶を味わったり、伝統的な踊りを体験し研修員との交流を深めていました。